

大阪柔整だより

会員限定セミナー

「頸椎異常と上肢障害の臨床」開催

本会に於いて 9 月 29 日(土)午後 4 時から河井整骨院 院長 河井 好照 先生によるセミナーが開催された。

冒頭、大阪府柔道整復師会 徳山 健司 会長より「柔道整復師の学術研鑽と資質の向上に努めるようしっかりと勉強してください」と激励の挨拶があった。

続いて河井 先生からセミナーの概要について項目ごとの説明があり、実技講習がおこなわれた。

【実習項目】

- ・外顆炎のテーピング
- ・ドゥケルバン氏病のテーピング
- ・尺側手根屈筋腱のテーピング
- ・内顆炎のテーピング
- ・腱板損傷・断裂及び肩関節損傷のテーピング
- ・星状神経節の手技

実技では参加者がグループに分かれ河井 先生によるテーピングの模範実技の後、実習する形式でおこなわれた。

今回は神経を意識したテーピングの技法で、テープを貼る姿位(ポジショニング)、テーピングの起始・走行・角度・停止といった一連の流れでの細かい指導がおこなわれ、参加者は反復実習を繰り返していた。腱板損傷・断裂及び肩関節損傷の場合、セミナーで実習したテーピング方法では、固定三角巾などで提肘しないため仕事や日常生活などに支障をきたす割合を最小限に留めることができるものであった。

最後に質疑応答でセミナーは終了した。

本セミナーは関心が非常に高く、早々に定員に達しました。満席の際には受講をお断りさせていただく場合があります。受講を希望される方は早めにお申し込みください。なお、満席の際にはホームページでもお知らせしております。

公益社団法人 大阪府柔道整復会 広報事業部